

## (2) シンポジウム

年度	テーマ	分野と課題
平成 1	(1) 給排水システム・施工に関するシンポジウム / 集合住宅を中心として	B - 3
	(2) 学校暖房環境と生理心理影響	B - 1
平成 2	(1) 住宅の給湯設備を考える	B - 3
	(2) 屋内環境の基準について	B - 1
平成 3	(1) 温熱環境と人体反応の測定法	B - 1
	(2) 建築設備における省エネルギーと環境'91(3都市)	B - 10
	(3) 給水・給湯設備の計測システムについて	B - 3
平成 4	(1) 換気効率の評価指標について	B - 2
	(2) 建物内の水質に関する諸問題と課題	B - 3
	(3) 大空間を中心とした最近の熱負荷計算	B - 2
	(4) 床暖房のAメティ評価について	B - 1
平成 5	(1) 未利用エネルギーの活用と地下蓄熱	B - 10
	(2) 給排水システムにおける逆流防止	B - 3
	(3) 住宅・オフィスにおける換気効率の測定例と問題	B - 2
平成 6	(1) 建築設備自動制御の課題とその対策	B - 2
	(2) 給排水衛生設備における騒音・振動低減設計・施工	B - 3
平成 7	(1) 地球環境時代における建築設備の課題(3都市開催)	A - 4
	(2) 住宅設備技術指針原案報告会	A - 5
	(3) HASS102-1955 換気規格(案)に関するシンポジウム	A - 5
平成 8	(1) 住宅の消費エネルギー計算用設定条件のモデル化	B - 2
	(2) 温暖地における高気密・高断熱住宅のあり方	B - 4
	(3) 雑用水の用途拡大	B - 3
	(4) 空調設備・環境・エネルギー最適化の一断面	B - 3
	(5) 単管式排水システムのあり方を考える	B - 3
	(6) [報告会]・1996年建築設備耐震設計指針(案)報告会	B - 11
平成 9	(1) 高齢者・障害者対応の給排水衛生設備と水まわり	B - 3
	(2) 給排水衛生設備計画・設計のモデル化と情報ネットワーク	B - 3
	(3) 換気規格 HASS102(案)の解説と欧米企画(案)との比較	A - 5
	(4) 持続可能な社会を支える建築設備のために	A - 5
平成 10	(1) 窓システムと熱負荷	B - 2
	(2) 室内空気汚染におけるダニ・カビ問題	B - 1
	(3) ビル管理システムのあるべき姿を求めて	B - 7
	(4) 蓄熱システムの最適化と負荷予測	B - 10
平成 11	(1) 設備デザインにおける評価手法とその成果・期待に関してのシンポジウム	B - 9
	(2) 工場換気に関する国際動向と日本の現状	B - 2
	(3) 熱媒の温度差を確保する技術と問題点	B - 2
	(4) 集合住宅排水システムの排水能力と設計法	B - 3
	(5) 住宅における生活スケジュールとエネルギー消費	B - 10
平成 12	(1) コミッシュンング拡大委員会 ライフサイクル性能検証のためのコミッシュンングの必要性	B - 9
	(2) 環境から見たアトリウムづくり方	B - 4
	(3) 建築設備の施工・保全における現状と課題 ・ 建築設備業におけるISO9000シリーズの運用の実績 ・ 建築設備業のトラブル銃砲の共有に関する調査研究	B - 6
	(4) 節水等による水の有効利用	B - 3
	(5) 負荷変動に対応した機器設計法の提案	B - 2
	(6) 管路系騒音の低減設計・施工マニュアル	B - 2
平成 13	(1) 集合住宅における設備のリフォーム・リニューアル	B - 4

\* 分野と課題欄は、付属資料5・設備技術者CPDの分野と課題の記号を示します。